

平成26年度

湯沢砂防だより

No.34

平成26年11月14日

国土交通省 湯沢砂防事務所



防災・減災
新潟プロジェクト
2014

11月5日長野県栄村役場において
「大規模土砂災害を想定した合同防災訓練」
を実施しました。



砂防スペシャルエンジニアと
対策工法を検討しました。



訓練では、様々な事象に対応すべく、
緊張感をもって実施されました。

11月5日（水）長野県下水内郡栄村役場において、大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施しました。

本訓練は、豪雨を誘因とした大規模土砂崩落の発生と天然ダムの形成、複数の土砂災害が発生したことを想定し、「栄村、長野県庁、長野県北信建設事務所、長野県北信地方事務所、湯沢砂防事務所」の各機関が土砂災害防止法等に基づくそれぞれの対応を確認し、課題の把握とこの後の危機管理対応能力の向上を図ることを目的としたものです。

当日は、栄村の島田村長をはじめ、砂防スペシャルエンジニアからも3名が参加し、総勢28名がファシリテータによる進行のもと、熱心に訓練を行いました。

土砂災害により大規模な土砂ダムなどが発生しますと、上流の家屋の浸水、道路の寸断などが起きるほか、土砂ダムが決壊した際には下流域に多大な被害を与えることがあります。訓練を通じて得られた知見を、今後の危険管理能力の向上に活用して参ります。